



梅中だより

校 訓 「 自 主 協 同 創 造 」

令和8年10月20日

第28号

文責

長崎市立梅香崎中学校

校 長

祝 最優秀賞 あじさいEnglish Speech Contest



10月17日（土）に行われた上記の大会において2年1組の〇〇 〇〇さんが、最優秀賞を受賞しました。このコンテストは、長崎市内の中学生80人以上が応募し、本選に選ばれたのはその中の16人です。1人の持ち時間は2分以内で、この16人がスピーチを行い、2名が最優秀賞に選ばれました。

〇〇さんは終始笑顔で、素晴らしい内容と発音、そしてジェスチャーを交えながらスピーチを行いました。



本選への参加の通知を受け取ったとき、英語科の指導をしてくださっている〇〇先生が、「出場するからには最優秀賞を目指します」と意気込みを言われたので、とても心強く思っていました。そして、ALTの〇〇先生と共に、〇〇さんの指導に取り組んでくださり、〇〇さんもその指導に応え、自分で工夫を加えながら表現力を高めていきました。本番前は多少の緊張も見られましたが、素晴らしいパフォーマンスを披露し会場を魅了しました。

長崎を彩る私のアイデア ～坂のまちアート構想～

私の住んでいる地域には、グラバー園、大浦天主堂、出島などの有名な観光地があり、多くの観光客でにぎわっています。しかし、長崎を訪れる観光客の多くは、限られた観光スポットだけを訪れてしまいます。そのため、もっと多くの人に長崎の様々な魅力を発見してもらうための新しい方法が必要だと思います。そこで、私が提案したいのが「ウォールアートビレッジ」です。「ウォールアート」とは、建物の壁に描かれた大きな絵のことで、誰でも無料で楽しむことができます。今年のゴールデンウィークに、私は韓国・ソウルの梨花洞（イファドン）壁画村を訪れました。その村は長崎のように坂が多く、色鮮やかなウォールアートが多くの観光客を引きつけています。坂道を歩いていると、どの通りにも興味深い作品があり、発見する楽しさでいっぱいでした。そのとき私は、「これを長崎でもできたら素晴らしいのに！」と思いました。ウォールアートには、長崎の歴史や文化、美しい景色、そして地域に貢献した人々などを描くことができます。そうすることで、観光客は様々な地域を歩いて巡り、長崎の新たな魅力を知ることができるでしょう。

ウォールアートビレッジができれば、より多くの観光客を呼び込み、地域の商店や飲食店の活性化にもつながります。私自身も、壁画のデザインや制作に参加したいと思っています。みんなで協力すれば、地域をもっと魅力的で楽しい場所にすることができます。私は、ウォールアートには、人々を立ち止まらせ、笑顔にし、写真を撮りたくなる力があると信じています。みんなで力を合わせれば、何気ない街並みをわくわくする観光スポットへと変え、より多くの人々が訪れたいと思う長崎をつくることができるでしょう。